

子育ての悩みに寄り添う絵本
子育てと絵本 vol.7

父親の子育て

男親が父性を実感するときっていつでしょう。それは人それぞれ。妻が妊娠中、大きくなっていくお腹や胎動に触れても実感がわかず、出産後わが子を抱っこしたときに実感する方が多いようです。

絵本「おとうさんがおとうさんになった日」。おとうさんがおとうさんになった日って、まぶしいんだ。なんだかくすぐったいんだ。ふしぎなちからがわいてくるんだ—いろいろなおとうさんの思いや表情が絵本のなかに広がります。

「あたしのすきなもの、ななんだ?」。親子で会話しながらまったり散歩する幸せな時間。子どもは自分のことをいっぱい聞いてほしい、知ってほしいと思っています。今このひとときを大切にしたいものです。

仕事が忙しくてなかなか子どもと関われず、わが子に人見知りをされたりして寂しい思いをしているお父さんをよく見かけます。「子どもは一番が母親、父親は二の次だ」と思っているお父さんも多くいます。子どもは遊んでもらったときのこと、お父さんのがっしりした手で頭をなでてもらったり、おんぶや抱っこをしてもらったときの感触をしっかり覚えていきます。

子どもと遊び、子どもの成長を感じて、育児日記をしたためるのもいいですね。お母

さんとは異なる観点での親と子の成長記録になるのではないのでしょうか。

お父さんも育児や仕事で疲れたときなど絵本を読んでみませんか。絵本を読むことで子どもの気持ちが分かったり、自分を見つめるきっかけになったり、気持ちが和んできます。

今の社会、さまざまな家族があり、いろいろな子育てがあります。ひとり親家庭。おじいちゃんやおばあちゃんが子育てをしている家庭。そして子どもの育ちも十人十色。失敗や成功、間違いとか正解などありません。変わらず大切なのは、命の重みと、子どもたちの健やかな育ちを願う親の思いです。

今回ご紹介する絵本



おとうさんが
おとうさんになった日
作 長野 ヒデ子
重心社



あたしのすきなもの、
ななんだ?
文 バーナード・ウェーバー
絵 スージー・リー
訳 松川 真弓
評論社

子育てひろっぱ「めぐみ」代表 弘田 恵子

大阪府立母子保健総合医療センターNICUや母乳育児相談室で勤務。その後20年間高知市内のめぐみ保育園で園長を務める。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター

